

# 住民自治協議会だより

第24号

発行 小田切地区住民自治協議会 〒380-0876 長野市大字山田中2545 TEL026-229-1511 FAX026-229-2074 E-mail otagiri-jitikyout@ngn.janis.or.jp

## 平成31年度 小田切住民自治協議会総会

平成31年 4月19日開催

### 住自協全体

- ・地域間交流事業の実施
- ・乗合タクシーの予約業務と利用促進活動
- ・介護予防生活支援活動計画
- ・翔和学園との協働事業
- ・住自協だより発行

### 総務・安全防災部会

- ・災害時緊急無線機の維持管理
- ・各区自主防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業の実施
- ・期日前投票支援事業の実施
- ・防災保管用物置設置

### 福祉・健康部会

- ・地域福祉活動計画の実施
- ・福祉委員会の各種事業の計画と実施  
高齢者の集い、喜寿祝賀会、サロン事業など
- ・福祉広報活動
- ・緊急連絡先キット活用維持
- ・地区健康保健活動の実施
- ・小田切交流センター連携の健康講座

### 環境・地域活性化部会

- ・環境整備、美化活動の推進やゴミ集積所の整備
- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・観光推進事業や地域活性化推進
- ・夏祭りの実施

### 教育・文化部会

- ・交流センター、地公連連携の各種行事推進
- ・青少年子ども育成活動と次世代育成
- ・人権啓発活動や社明など住民集会の実施



## 支所長挨拶

小田切支所長 小林 弘明



4月1日付の人事異動で小田切支所長に着任いたしました。初めての小田切でありまして、地区の現状や課題の把握に加えて、歴史や名所等について、勉強しているところがございます。地区の事をもっと知るためにも、行事や会合等に参加し、皆さんとお話しをする機会を増やして参りたいと考えております。また、住民自治協議会では、住民の移動手段であります乗合タクシー「かつら号」の運行や、「お茶のみサロン」の開催など、住民同士のつながりを深める事業に力を入れていただいております。住民自治協議会の皆さんと共に、小田切の活性化に向けて頑張ってお参りますので、よろしくお願いいたします。

### 人事異動

小田切支所

小田切交流センター

転入 支所長（学校教育課）  
小林 弘明  
職員（芋井支所職員）  
塚田たみ子

転出 信更支所長（支所長） 石坂 恒雄  
西部保健センター  
（保健師 小田切駐在） 山崎 綾美  
※小田切地区担当は継続  
芋井支所職員（職員） 島田 睦子

改称 小田切交流センター（小田切公民館） 所長（館長） 安原 哲夫

## 平成 31 年 度 一 般 会 計 収 支 予 算

< 収 入 >			< 支 出 >		
公的補助金	交付金	5,271,000	事業費	総務・安全防災部会	1,002,000
	補助金等	1,740,000		福祉・健康部会	2,352,000
	各区負担金等	1,258,000		環境・地域活性化部会	1,037,000
負担金	各区分等	1,258,000		教育・文化部会	1,300,000
雑収入	寄付金等	69,760	運営費	事務局費	3,688,000
	前年度繰越	2,021,240	配分・委託費	各区配分、団体補助等	394,800
繰越金			繰出金	福祉自動車	50,000
			予備費		536,200
収 入 合 計			支 出 合 計		
10,360,000円			10,360,000円		

## 小田切公民館「小田切交流センター」としてスタート

小田切公民館が平成31年4月から、「長野市小田切交流センター」となりました。公民館では対応できなかった地域づくりに関する活動、福祉事業にも利用でき、より使いやすく生涯学習が推進できる交流の場となりました。

1階の旧会議室3が「みんなの広場 ～寄って家'S小田切～」になりました。ここは予約なしでいつでも誰でも誰とでも気軽に利用できます。乗合タクシー「かつら号」でも利用して立ち寄ってみてはどうでしょうか。読書やおしゃべり、コーヒータイムにもどうぞ。

今までの講座やサークル活動などは変わりなく引き続き利用できます。



## 第1回 小田切地区夏祭り

夏祭り実行委員会

8月12日開催 錬成センターグランドで

小田切地区住自協は、8月12日（振替休日）に長野翔和学園、錬成センターと共催で第1回小田切地区夏祭りを錬成センターグランドで開催します。時間は午後4時から8時です。雨天は小田切交流センター（旧公民館）体育館となります。

恒例の盆踊りに加え、模擬店もあります。長野翔和学園の皆さんが中心で焼きそば、焼きもち等々、かき氷もあります。小さなお子さんも楽しめるコーナーも計画しておりますので家族でお出かけください。またお花と夏野菜の販売もあります。お盆の準備としてもご利用ください。



## 期日前投票「かつら号」で交通支援



小田切地区住自協は、期日前投票の交通支援として、従来のタクシー利用から乗合タクシー「かつら号」による支援をしています。4月の県議会議員選挙から本格的に取り組みました。小田切支所投票所で運行日の水・金曜日の2日を対象に、今回は5便で10名の利用がありました。

乗車料金は住自協から直接タクシーへ支払います。今後、7月に参議院議員と9月に市議会議員選挙があります。ご利用ください。

## 喜寿祝賀会

福祉・健康部会

平成30年度にめでたく喜寿を迎えた方の祝賀会を、3月6日に松代荘で行いました。対象の方は16名で、参加は5名と少なく残念でしたが、福祉委員会の皆さまの協力で賑やかに楽しくお祝いできました。

今年の祝賀会演奏は、裾花区の宮尾仲良さんにお願ひし、お祝いの詩吟「宝船」と尺八で「柔」など披露していただき、替え歌もあり心温まるすばらしいお祝いとなりました。

会食後に、それぞれがカラオケで思い思いに楽しく歌いました。小田切地区恒例のお祝いを良い思い出に、今後も健康に留意されますますお元気で過ごしてください。



## 小田切地区住民自治協議会設立10周年

小田切住自協は平成21年3月7日に発足して10周年となりました。4部会でスタートした部会は今も同じですが、所属団体は見直し再編などしながら新たな行事や活動に取り組んでいます。

急速に高齢化が進む中、福祉関連事業にはより力を入れています。「お茶のみサロン」によるご近所のふれあいや声かけで孤立を防ぎ、住民の出かける機会を増やす移動手段として、乗合タクシー「かつら号」の運行業務刷新や福祉自動車の運行できめ細かな対応をしています。

高齢化率は、住自協発足時38.3%でしたが、10年後の今年4月に50.1%と50%を超えました。

## 福祉自動車運転協力員研修会

3月19日

福祉自動車の運転協力員のみなさんを対象にした研修会を行いました。今年は市交通安全対策担当による送迎運転中の事故の事例紹介で、改めて安全運転を心掛けなければとの思いです。女性2名による地元の話を取り入れた寸劇と腹話術があり、楽しい笑いの連続でした。協力員8名には、日頃運行中に気になっている事など意見交換し、より安全に今後活かす研修会でした。



寸劇

## 介護予防生活支援活動計画「しゃべり場」から検討会へ

生活支援体制の整備、支え合い計画を進める体制づくりに向けて、8月に初の「しゃべり場」を開き2回の開催をもって、それぞれから意見を聞くことができました。そこでは、見守り・声掛け・居場所、特に男の社交場も必要などとの意見があり、草刈りや雪かきなど小さな困りごともありました。



第1回検討会

ここから、一歩進めて検討会となり、3月1日の第1回検討会では、まず、しゃべり場で出た意見を総まとめしてみました。これに優先順位をつけて具体的な検討に移っています。

小田切公民館が交流センターとなり、新設された「みんなの広場～寄って家'S小田切～」をうまく活用できないか、どんな利用の仕方があるかを検討します。

# 小田切 老人クラブ総会

平成30年度小田切老人クラブ総会が、4月18日環境改善センターで開催されました。老人憲章唱和で始まり、事業報告と収支決算、31年度事業計画と予算、新役員を承認しました。

会員の減少が大きな課題で、現在は35名での活動ですが、相互の親睦を深め、住自協や小田切交流センターとの協働事業も進めていくことを確認しました。



## 小正月行事



地蔵平・裾花



どんど焼き

上深沢



火起こし



道祖神

## 各種団体長会 湯田中ホテル「おもだか」



2月4日

## お達者教室



2月14日

## 長野翔和学園「たいしたもん」組立て



文化芸能祭に向けて

## 富士の塔遊歩道整備



4月17日

## やまびこ

小田切地区住自協は誕生10年を迎えました。設立は平成21年3月7日で、この時人口は1,235人、525世帯で高齢化率43.0%でした。あれから10年、人口は3割近く減少して4月に889人、430世帯。高齢化率はついに5割超の50.1%。

皇位継承に伴う10連休は農繁休暇となりました。 令和己亥 初夏